

アイジェノミクスの PGT-A 特長1 エビデンスに裏付けられた独自のモザイク基準

世界で唯一のランダム化試験

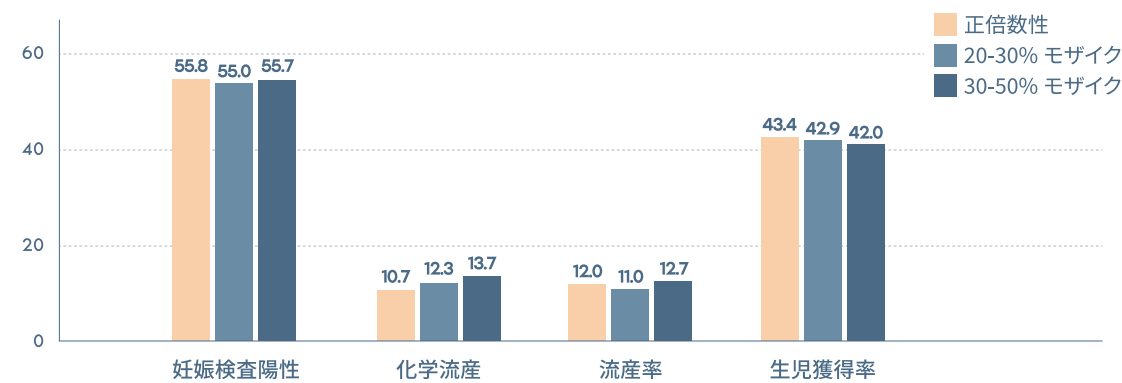
アイジェノミクスの PGT-A 検査を用いたダブルブラインドランダム化試験では、20-30% モザイク胚、30-50% モザイク胚が、正倍数性胚と同等の生殖能力を持つことが示されました。

臨床試験結果

3つのグループにおいて、妊娠率と生児獲得率に有意な差はなかった

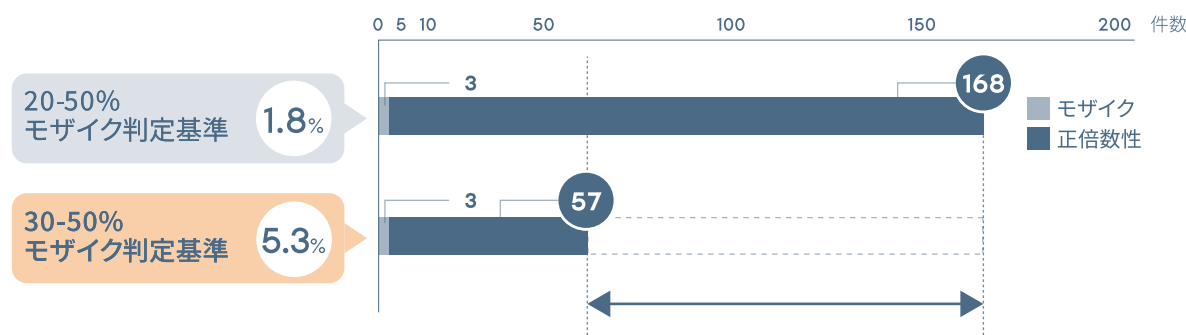
50%未満のモザイク胚の移植は、正倍数性胚の移植と比較して、流産や胎児/構造/発育異常のリスクを増加させなかった

■ 胚移植の臨床成績 (897 単一胚移植)



Source: Antonio et al., The American Journal of Human Genetics 108, 1-10, December 2, 2021

■ 各基準でモザイクと判定された胚が、実際にモザイクだった割合



20-50% 判定基準の場合、30-50% 基準に比べて100個以上の胚が活かされない事になります

Source: L. Girardi et al., O-082, Abstracts of the 36th Annual Meeting of the ESHRE, 5 to 8 July 2020



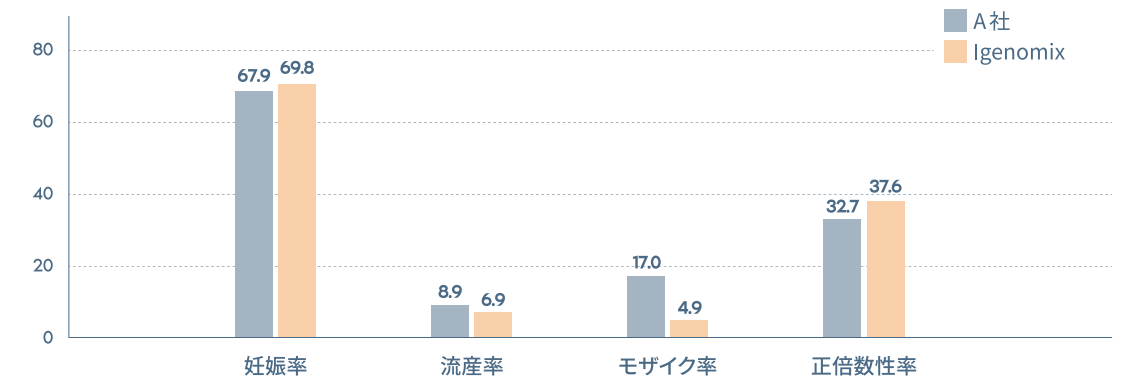
ESHRE - PGDIS ガイドライン

ESHRE - PGDIS の新しいガイドラインでは、低頻度モザイク胚 (50% 未満) についても、正倍数性胚と同様に移植優先順位の検討がなされるよう推奨されています。



アイジェノミクスの判定基準で胚移植した場合、結果はどうなるのですか？

■ 判定基準が異なる2つの PGT-A 検査を用いた臨床比較



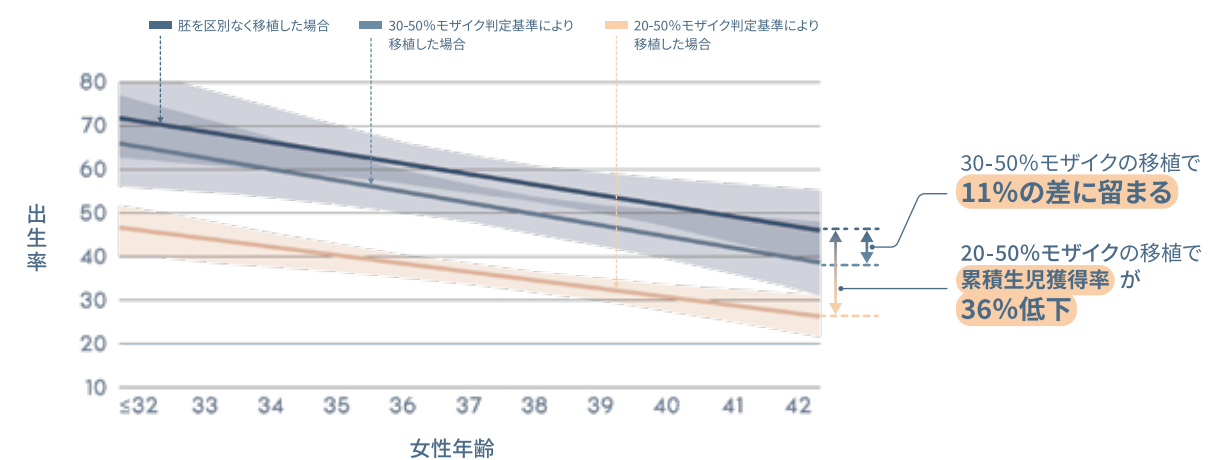
Source: D. Monahan et al., e28 RBMO VOLUME 39 ISSUE s1 2019



低モザイク基準を30-50%とした場合と、20-50%とした場合では、累積生児獲得率にどのくらい影響があるのですか？

各周期ごとに得られた正倍数性胚、モザイクと判定された胚を区別なく移植した場合に比べ、30-50%モザイク判定基準により移植した場合では、その累積生児獲得率は**11%の差に留まる**のに対し、20-50%モザイク基準で胚を移植した場合、**累積生児獲得率が36%低下**になります。³⁾

■ 累積生児獲得率



30-50%モザイクの移植で**11%の差に留まる**

20-50%モザイクの移植で**累積生児獲得率が36%低下**

³⁾ Figure S3 – Estimated impact on cumulative live birth rates in case putative mosaicism embryos are excluded from clinical use. Antonio et al., The American Journal of Human Genetics 108, 1-10, December 2, 2021